



大明小学校

## 校長室から

令和元年10月22日

No. 35

文責 校長 飯久保一男

## 家庭ではどうですか

ありがとう

親が言わなきゃ

子も言わぬ

(谷川 里香 岐阜県) 全国PTA協議会「三行詩コンクール」優秀作品より



この紙面 No.28 で、ドイツの教育の紹介をしました。その中で

「ドイツでは子どもに生活上のルールを教えるのは親の仕事とされ、親が子どもに見本を示したり、他人への対応の仕方などを教えたりすることができなければ、親の役目はいったいどこにあるのか分からない。」

という言葉を紹介しました。親の仕事はドイツも日本も共通しています。日本では古くからのことわざで「親の背を見て子は育つ」といわれています。「子は親を映す鏡」という言葉もあります。

＜例えば＞ 校外学習の中には、帰りの時刻が遅くなったり、荷物が多かったりして保護者のお迎えをお願いする場合があります。その校外学習から帰ってきて駐車場で解散しました。多くの子は帰っていき、保護者のお迎えを待つ子が数人残り、担任とその数人で保護者のお迎えを待っていました。

母親A 車で駐車場に入ってきました。子どもが「お母さんが来た」と言って、車に駆け寄っていききました。子どもがドアを開け、車に乗り込んで帰っていききました。

母親B 車で駐車場に入ってきました。子どもが「お母さんが来た」と言って、車に駆け寄っていききました。母親は車を降り、子どもと一緒に担任に歩み寄りしました。「ありがとうございました」と親子で頭を下げて帰っていききました。



子どもが親の姿を見て育つとしたならば、Bの母親の姿を見せてほしいものです。子どものあいさつや返事、受け答えなどは親が見本を見せることで子どももできるようになるものです。

…担任には頭を下げるものだとことを言いたいのではありません。

ホームページの **学校評価** の項を見ていただきたいと思います。今年度の前期の学校評価を公開しています。おおむねいい評価ですが、その中でも子どもたちの「あいさつ」についての評価がやや低い評価になっています。

## 【親子であいさつを交わしていますか】

親子で「おはよう」のあいさつを交わしていますか。「おはよう」だけでなく、「行ってらっしゃい」「おかえり」「いただきます」「ごちそうさま」「おやすみ」など日常のあいさつをしていますか。朝、「おはようございます」と元気なあいさつをしてくれる子は、きっと家でも毎日気持ちのいいあいさつをかわしているんだろうなあと思います。

### 【親子でお互いに返事をしていますか】

子どもから呼ばれたときに親も返事をしていますか。教師が名前を呼んで「はい」と元気に返事をする子は、家で、親に呼ばれても元気のいい返事をしているのだらうと思います。「うん」ではなく「はい」と返事ができると気持ちよく思います。

### ＜親の子どもの呼び方、子どもの自分や親の呼び方＞

…特にそうしなければいけないという決まりはありませんが、ちょっと気になることです。

その1 自分の子どもを「〇〇くん」「□□ちゃん」と呼ぶことをどう思いますか。特に人前では、親はふつう、自分の子の名前は呼び捨てにするのではないかと思います。

その2 子どもには自分を自分の名前でも言わず、「ぼく」「わたし」など、一人称で言うようにさせてほしいと思います。大人でも、自分のことを名前で言う人はいますが…。

その3 子どもが、人前で自分の親を「パパ」「ママ」と言うことはどうでしょう。小学生には「お父さん」「お母さん」という言い方がふさわしいように思います。高学年になれば「父（母）から聞いています…」などと言えるとさらにいいと思っています。

### 【正しい受け答え・正しい言葉づかいの指導をお願いします】

受け答えについては様々な内容があるので、書き切れませんし、難しいことですので、少しだけ書かせてもらいます。何より、経験を積むことが一番の近道だと考えます。親子の会話の中に重要なポイントがあると思います。まず、言葉を正しくつかえるようにすることが大切です。気になっていることを2点だけ書きます。

その1 親子の間では、俗にいうタメロでもかまいませんが、目上には「です」「ます」などの丁寧な言葉づかいができることが必要です。中学年くらいからは、教職員に対して丁寧語をつかえるようにしてほしいものです。教職員に「です」「ます」をつかえることが、将来、目上につかえることにつながります。

その2 言葉を省略しない言い方の指導をお願いしたいと思います。「先生、トイレ。」と言って、トイレへ行かせてほしいことを伝える子がいます。担任は「トイレへ行かせてください」「トイレへ行ってきます」という言い方が正しい言葉づかいだと指導しています。

家で食事中、台所にいるお母さんに子どもが

「お母さん、お茶。」

と言ったらどうしますか。急須や湯飲み茶わんを運んでお茶を注いでやりますか？

「お茶がどうしたの？」と聞き返す。

「お茶をこぼしたの、それは大変。」とワザと慌てて拭きに行く。

「お茶が欲しいなら欲しいと言いなさい！」とちゃんと言わせる。

「それくらい自分でやりなさい！」…etc.

ご指導をお願いします。



「行ってらっしゃい」門に立って送り出す

でも すぐに家には入らない

あの角で あなたがもう一度振り返るのを 知っているから



(加藤 寿子 岐阜県) 全国PTA協議会「三行詩コンクール」優秀作品より